

## 第一内科・腫瘍内科に通院中の患者さんへ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 間質性肺炎合併肺癌に対する化学療法の有効性及び安全性に関するレトロスペクティブ研究

[研究機関] 北海道大学病院 第一内科・腫瘍内科

[研究責任者] 大泉 聡史（第一内科・講師）

[研究の目的] 間質性肺疾患合併肺癌の化学療法施行の実態を明らかにするとともに、治療効果と関連する因子について検討すること。

### [研究の方法]

#### ●対象となる患者さん

肺癌の患者さんで、平成 16 年 1 月 1 日から平成 21 年 12 月 31 日の間に肺癌の治療を受けた方

#### ●利用するカルテ情報

年齢、性別、組織型、病期、喫煙歴、PS、間質性肺疾患の種類、間質性肺疾患の診断根拠（画像診断のみ、気管支肺胞洗浄の有無、外科的生検の有無）、間質性肺疾患急性増悪に対する治療、放射線治療歴、手術歴、化学療法レジメン、治療開始日、腫瘍縮小効果、有害事象（急性増悪の有無）、増悪日、死亡日もしくは最終生存確認日などの診療情報を診療録から収集する。検査：血液検査および CT

### [個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

### [問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 第一内科 担当医師 大泉 聡史

電話 011-706-5752

FAX 011-706-7899